

十一面観音(三の一) (サンスクリット語：Ekadasamuhka)

観音菩薩は慈悲と憐れみの女神です。観音は多くの顕現で登場し、個人の嘆願に応じて異なる形で衆生の声に答えます。観世音寺の宝物殿には、聖観音、十一面観音、馬頭観音など、さまざまな観音の解釈があります。

ここに見えるのが十一面観音です。十一面の主な特徴は、神の頭上にある十個の小さな頭です。無数の頭は、観音が四方八方を向いて衆生の苦しみを感じ取ることを可能にします。この像は 13 世紀のものです。像高はわずか 103cm で、観世音寺で最も小さい木彫像です。